

## 教材の活用場面

活用した教材	タイピングをマスターしよう！【A2345-1】		
STEP	STEP 2～5	領域	A 基本的操作
学校名	杉並区立天沼小学校	校種	小学校
学年	第4学年	教科等	—
活動時間	朝学習		
活用の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボードで文字入力ができるようになることを目指す。</li> <li>・本教材には「イージーモード」と「ノーマルモード」があり、児童がモードを選択して、活動に取り組むことができる。</li> </ul>		

## 活用の様子

### 【ポイント1】 教師の説明がほとんどなくても、児童が教材を活用することができる。



教材の使い方をほとんど説明しなくても、どの児童もタイピング練習を始めることができていた。操作がシンプルなので、児童が夢中になってタイピングに取り組むことができた。

### 【ポイント2】 モードが選択できるからこそ、より高得点をとるために熱中する。



「イージーモード」と「ノーマルモード」で難易度が選択できるので、児童は自分の能力に応じて取り組むことができていた。クラスの平均タイピング文字数は109文字（30名）であった。

### 【ポイント3】 ホームポジションについては、動画教材を参考にする。



タイピングの速度を上げるためには、両手をホームポジションに置き、両手でタイピングしていく事が必要となる。同教材の動画教材「タイピングのホームポジションをマスターしよう【A2345-2】」を活用して児童に説明した。